

2 3月の見通し

野 菜

3月も引き続き平年に比べ数量減・単価高の傾向は変わらず、特に「はくさい」「キャベツ類」「ねぎ」は引き続き単価が高い見通し。春作については、「ブロッコリー」や春キャベツで出荷時期が重なるなどして入荷が急増する可能性がある。

販売面では、ひな祭りを皮切りに春商材中心の売り場構成に変わるため、相対的に鍋商材の品目は徐々に荷動きが鈍くなる見込み。特に「トマト」「ピーマン」等の果菜類、「ほうれんそう」は平年並の単価に落ち着いていく見込み。

野菜全体では、入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。

果 実

「いちご類」「かんきつ類」を中心に入荷する。

「みかん類」の入荷が終息に向かう中、「いちご類」は年間で最も多い時期となる。「いちご類」は「とちあいか」が安定的な入荷となり、「あまおう」が遅れながらも増量に向かう見込み。

「かんきつ類」は引き続き数量が前年を下回る品目が多い。

「りんご類」は引き続き数量少なく、高値推移が予想される。

果実全体では、入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。

品 目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備 考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇓⇓	↗↗	↑↑	主産県は千葉県、神奈川県。いずれの産地も干ばつ傾向は解消されつつあり、生育・出荷ともに順調となる見通し。予想入荷量は前年並で平年をかなり下回る見込み。
にんじん	⇓	⇓⇓	↗↗	↑↑	千葉県産が終盤にさしかかり、主産地は徳島県に移行する。千葉県産は前進傾向で残量が少なく、徳島県産も上旬に出荷開始見込みだが、寒さで12月は種分で若干の遅れがみられ、瞬間的に減少する可能性がある。予想入荷量は前年をやや下回り、平年をかなり下回る見込み。
キャベツ類	⇒	⇓⇓	↑↑	↑↑	主産県は愛知県、神奈川県、千葉県。低温・干ばつによる生育遅れ・小玉の傾向は変わらないことから、上中旬の品種切り替えがうまくいかず、不安定な入荷量となる見込み。気温上昇に伴い下旬には数量回復が見込まれる。予想入荷量は前年並で、平年をかなり下回る見込み。
ねぎ	⇓	⇓⇓	↑↑	↑↑	主産県は千葉県、埼玉県、茨城県。秋冬の残量は平年に比べ少なく、低温及び干ばつの影響で秋冬ねぎ、春ねぎともに出荷量は伸び悩む見込み。予想入荷量は前年をやや下回り、平年をかなり下回る見込み。
きゅうり	⇓	↓↓↓	↓↓↓	↗↗	主産県は群馬県、宮崎県、千葉県。関東産の越冬作が終盤に差し掛かり、春作が増量する。生育は各産地おおむね順調だが、作付減となった産地もあり、予想入荷量は前年をやや下回り、平年を大幅に下回る見込み。
トマト	⇓	↓↓↓	⇓⇓	⇒	主産県は熊本県、栃木県、愛知県。各産地越冬作の生育は順調だが、小玉傾向が続いており、上旬は数量減の見込み。予想入荷量は前年をやや下回り、平年を大幅に下回る見込み。
		増加	減少		

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ⇓⇓	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ⇓	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上